

くめじま

議公だより

2012.9.1

No.41

盆踊り 楽しいね
久米島まつり

祝
第十二回久米島まつり

9月定例会

海士町行政視察	2
6月定例会で決まったこと	4
一般質問	5
オスプレイ配備反対決議	15
議会のうごき	16

「小さな島の大きな挑戦」とは…

海士町行政視察

平成24年7月3日～6日



日本海の島根半島沖、約60kmに浮かぶ隠岐諸島。4つの有人島の一つ「中ノ島」に「海士町」はある。人口約2300人の小さな島だが、社会人口増減率が全国トップクラスとなり全国的に注目を浴びている。離島が故に抱える問題を、「海士町」はどのような取組を行ったのか。また、存続の危機を切り抜けた「島前高等学校」の取組、地域の特産物を出荷するための「CAS冷凍」、本土と海士町を結び定期航路の「高速船」も視察の対象である。今回の視察には、大田副町長、町教育委員会職員1名、久米島高校半嶺校長・教員1名も同行した。「島前高校」の取組と一緒に視察するため

7月4日（水）海士町の菱浦港に到着し私たちが最初に目にしたのは、先客待合室である。木造の渋い建物でそこからはボーディングブリッジがのびている。久米島でも建設が検討されており、早く実現させたいと思った瞬間であった。

最後尾から最先端へ

海士町に到着後、隠岐総合開発センター会議室において、町役場産業創出課の大江課長から「海士町の取組」の説明を受け、私たちは衝撃を受けた。いつ財政破綻してもおかしくない状況から、合併ではなく自立の道を選択。町長を筆頭に職員、地域が一体となり、様々な取組を行った。それは生き残るための戦略であった。「守り」と「攻め」の両面作戦では、行財政改革で「守り」を固め、「攻め」の方策として、新たな産業の創出を強力



▲海士町の取組の説明を受け、町長、職員、町民が一丸となった島作りに衝撃を受けた。

▲ターミナルには産業3課が365日体制で勤務。木造のボーディングブリッジも見事である。

に推進することを戦略においた。

※攻めの戦略

●産業3課の設置

・攻めの実行部隊である「交流促進課」「地産地商課」「産業創出課」を設置

●地域再生計画

・人づくり、モノづくり、健康づくりの3本の柱がベース

●第1次産業の再生

・『海』『潮風』『塩』の3つをキーワードに地域資源を有効活用し『島まるごとブランド化』を目指す

産業3課は、港の玄関ターミナルに配置し、現場を重視した365日体制でシフト勤務している。そして、「若者・よそ者」を呼び込み産業の創出、地域活性化へとつなげていった。

『島まるごとブランド化』では、島では常

識だった「さざえカリー」を商品化。「隠岐海士のいわがき・春香」の養殖。CASという新技術を導入し、旬の味覚を商品化。ミネラル豊富な島の大地で放牧した「隠岐牛」のブランド化。ミネラル豊富な海士ノ天然塩から始まる産品づくりの推進（梅干し・塩辛・干物）。これらの多くが、よそ者（ターナー者）をつまく活用した結果だという。

高校の存続危機から異例の学級増

島根県立隠岐島前高校（以下、島前高校）は隠岐諸島の中の島前3町村（海士町・西ノ島町・知夫村）における唯一の高校。しかし、少子化の影響を受け、年々生徒数が減少した。また、大学進学を希望する生徒の多くが、本土の高校へ入学する傾向にあった。その危機

からの脱出をかけ「隠岐島前高等学校の魅力化と永久の発展の会」を発足。魅力的なカリキュラムの編成、寮の活用、交流の促進など高校と地域の連携により、魅力化構想を策定した。①「地域創造コース」と「特別進学コース」の2コース制を開始。②高校・地域の連携型公営塾「隠岐国学習センター」の設立。③意欲ある島外生を受け入れる「島留生」制度開始。このほか、様々な取り組みにより今年度、異例の学級増が実現したのである。県（高校）と町（行政）の壁を打ち破り、島の未来のため突き進んだ結果であろう。

島と島を結ぶ高速船

隠岐の島と海士町（中ノ島）を結ぶ高速船の視察は、旅行行程の関係で議員2人が視

察し、意見交換を行った。

高速船レインボーは約300名乗りで、時速約70kmで航海している。隠岐汽船では、フェリー3隻、高速船1隻体制で、4島をローテーション方式で運航。現在の高速船は船齢15年に達するため、25年度にジェットホイルの導入を計画しているという。

久米島から那覇まで、同じような高速船を導入した場合、約1時間30分での航海が実現できるだろう。町民の交通の便、そして観光誘客にも大きな効果をもたらすであろう。

まとめ

今回の行政視察では、同じ離島として抱える諸問題に対する海士町の素晴らしい取組についての情報収集ができた。現地に足を運ぶこ

とで、直接肌で感じる事ができ、とても良い研修であった。この

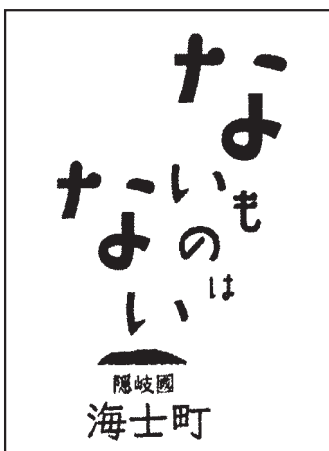
研修を今後の議会活動に活かしたい。



▲島内では年間約1200頭の牛が生まれるが、「隠岐牛」として徹底した飼育が行われ、市場に出るものはその1割程度。島であることを活かしたミネラル豊富な地元飼料を食べ、隠岐の自然環境で育った「隠岐牛」。東京での評価は非常に高く、食肉格付け協会において8割以上の牛が、上物とされる4・5等級にランク付けされる。



▲上段 隠岐島前高等学校
下段 高速船レインボーII



『なくてよい。大事なことはすべてここにある。』海士町の生き方を発信するロゴマーク

6月定例会で 決まったこと

平成24年6月(第3回)定例会は、6月13日(水)14日(木)の2日間の日程で行われました。
定例会では、議案14件を審議し、すべて原案どおり可決・採択しました。14日(木)の一般質問では12人が登壇し活発な審議が行われました。

件 名		採決結果	棚原哲也	幸地猛	平良義徳	翁長学	宇江原総清	安村達明	喜久村等	島袋完英	崎村正明	饒平名智弘	山里昌輝	仲村昌慧	玉城安雄
専決処分の承認	専決処分(久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分(久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例)の承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分(平成24年度久米島町一般会計補正予算(第1号)の承認について	可決	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
条例	久米島町課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	平成24年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について														

第4回臨時会で決まったこと

会期：平成24年7月23日

他	島の学校体験交流施設「あじま一館」の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
動議	米軍基地普天間飛行場へのMV-22 オスプレイ配備に反対し、撤回を求める意見書	採択							○						
	米軍基地普天間飛行場へのMV-22 オスプレイ配備に反対し、撤回を求める講義決議	採択							○						

○は賛成 ×は反対

問 農業と観光に対しての支援を



翁長 学議員

答 関係団体と話し合いながら対応する

翁長 今期の製糖は過去最悪の収穫である。町としての支援策は。そして、低迷する観光入客数に対して、どう対応していくのか。

翁長 観光に対しての取組が町として、後手に回っているのではないか。

平良産業振興課長 関係団体と協議連携を図りながら、誘客に動いている。それと今回は一括交付金も含めて予算的に6000万円計上し、観光の実態調査など色々な対策をしていきたい。



問 椎名川の倒木の除去を

答 早急に対策を講じたい

平良 去った4月19日から20日未明の豪雨では、本町全域で道路の決壊や家崩れが起こった。また、川の氾濫等で農作物が大きな被害を受けた。椎名川一帯では花卉や野菜、農機具・ハウス等の被害がある。要因としては川が氾濫したためと思われる。その理

由としては、倒木に雑物等が集積した為だと周辺農家の意見である。倒木の除去をする考えはないか。

町長 現場確認を行ったところ、状況からすると河川内の樹木に雑物が堆積し、河川の流れを阻害し水位上昇が起こり冠水被害を起こしたと想定される。これからの台風シーズンを迎えるにあたり、更に被害を受ける可能性があるため、早急に対策を講じたい。



平良義徳 議員





これも質問

- 問** イーフビーチを日本の渚100選にふさわしい砂浜の整備を
- 問** 太陽光発電の設置補助を!
- 問** 公衆トイレの整備を

幸地 陸上競技場400mトラックの建設計画は? サッカー場の建設計画は? 沖縄角力場の建設計画は?

町長 総合運動公園内の各種競技施設については、需要の面が一番重要だと考えている。400mトラックの陸上競技場

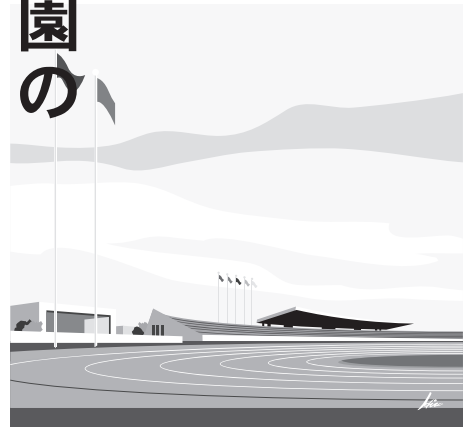
及びサッカー場は児童・生徒の競技力向上やスポーツキャンプの誘致の面、さらに沖縄角力については中学校体育の一部に取り入れられることから、それぞれの競技場の整備については個別の議論が必要と考えている。

答 議論する必要がある

問 総合運動公園の整備は?



幸地 猛 議員



問 農業の振興策は?

答 新しい農業制度による新規就農計画を作成する



幸地 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業の内容は? 農業後継者政策の考えは?

町長 本施設は、実証施設の位置づけであり、耕作者というより実証事業への参加者と深層水農業利用研究会や久米島高校園芸科を考えている。将来的な展開としては、夏場の端境期に島外から島内に

入る葉物野菜に変わる供給を目標としている。農業後継者育成については、国の新しい農業制度による、人・農地プラン策定の中で位置づけし、新規就農計画を作成していきたいと考えている。また、県の一括交付金の活用や町独自の支援策も含めて、検討し対策を講じていきたいと考えている。

問 高速船の早期導入に向けて 検討委員会の設置を！

答 6月から検討委員会を発足し、 議論していきたい



棚原哲也 議員



棚原 大量輸送手段

である航空路のジェット便が減便され、修学旅行や団体ツアー客などが大幅に減少し、観光関連産業が大変厳しい状況にある。新造フェリーが導入されても3時間半の航海時間では団体客誘致には厳しい。1時間半程で航海できる200〜300名規模の高速船の早急な導入が必須ではないか。

町長 ご指摘のとおり、観光入客の減少も予想されるので、

今月から高速船導入検討委員会を発足して船種及び財源、導入時期を議論していきたい。

問 観光施設の 安全対策を

答 関係課と調整を図る

棚原 奥武島置石側の階段式護岸は子供や高齢者、身障者が昇降するのに勾配が急であり、危険な状態である。安全対策として早急に手すり、またはスロープの設置をする必要があると思うが。



町長 基本的にその護岸施設の機能を失われない施設であれば設置は可能と思われる。関係課と調整を図り、必要であれば設置に向けて取り組みたい。

問 通学路の 安全確保を

答 引き続き県へ 整備要望していく



棚原 通学時の子供たちは歩道のない箇所

を通って登下校しているのが現場の状況である。また、庁舎側から県道に出る多くの運転者が、泊謝名堂方面から西進する車や子供たちが視認できず、危険を体感したという声がある。

聞かれる。県へ優先整備を要望する考えはないか。

町長 質問の箇所につきましては、変則的な交差点と見通しの悪さが混在している場所で交通安全上非常に危険な状況であることは以前から認識をしている。改善について県の方に幾度となく要望してきたが、引き続き県へ整備要望していく。

問 中学校（仲里・久米島） 統廃合が遅れた理由は？

答 住民説明会、検討委員会の答申を受け26年度に向けて推進



玉城安雄 議員

玉城 中学校の統廃合については12月議会で「25年度に実施する」としているが、遅れた原因は何か。

教育長 担当職員が兼務のため業務が多忙で事務作業が遅れたのが要因。

玉城 統廃合に向けての工程表を見ると非常に過密である。工程を組み直して取り組むべきではないか。

教育長 7月中に事務作業を終え、検討委員会の答申を受け、町長に話し9月議会

に上程できるよう努力し、26年度に実現できるように推進する。



問

儀間・真我里（一周線）の 歩道整備、街灯設置を要望する

答

歩行者の安全確保の面からも県に要望していく

玉城 久米島一周線（真我里〜儀間）において、街灯の未設置、歩道管理不十分で危険な状態である。今後、統廃合に向けて通学路として整備する考えはないか。

町長 県に確認したところ、道路照明は設置基準に準じて設置しているが、質問の箇

所は要件に合致していないとのこと。そのため県による設置は厳しい状況であるが、安全確保のため、県に要請していく。

玉城 街灯設置が厳しい状況であれば、街路樹を撤去し見通しを良くすることはできないか。

盛本建設課長 以前

からも指摘があり調整しているが、県の予算の問題で管理が行き届いていない状況である。植栽の伐採も含めて再度県と調整し双方で検討していく。

玉城 一括交付金の中に対応可能な事業が在ると思うので、精査して県道全体として要請してほしい。

問 一般質問の 経過報告を

答 1年分取りまとめて報告している

玉城 議員の一般質問は年間にすると相当件数がある。行政執行にあたり、貴重で建設的な意見、提言等もあるが、進捗状況の報告はどうなっているか。

仲村渠総務課長 1

9月の定例会に報告している。

玉城 年1回では少ない気がする。定例会毎に報告する考えはないか。

仲村渠総務課長 議会事務局と調整しどのような方法が良いのか考えていく。



宇江原総清 議員

問 鳥島射爆撃場からの 環境汚染は

答 内部被ばくはないと考える

宇江原 福島第一原発事故後、放射性セシウム等は東京湾などの河口に集積する傾向にあることが報告されている。また、原子力安全委員会の暫定基準値を使った食品を年間5ミリシーベルトになる内部被ばく量が今年4月から、ほぼ5分の1に引き下げられ、厳しくなった。町長は放射能物質の内部被ばくを鳥島射爆撃場の残留劣化ウラン弾に置き換えて判断することはできるのか。

町長 劣化ウラン弾の特性やこれまでの調査結果から、鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾による内部被ばくは無いものと考え

宇江原 2008年

当時の琉大教授の矢ヶ崎克馬氏は「エアゾール微粉末化した劣化ウランの放射能により久米島はじめ慶良間諸島や沖縄

本島まで汚染されている可能性が高く、長期的に見れば、原子力爆弾に劣らない環境汚染になる」と言っている。

問 伝統文化発展の ために助成増額を

答 町の行政改革の中で 検討する

宇江原 沖縄角力協会久米島支部への助成増額をしてほしい。この伝統文化をさらに発展させることで、観光客のファンも増えると思う。子どもたちへの適切な指導や後継者育成が必要な指導や後継者育成が必要となる。町長

保久村教育課長 他の団体等もあるので、町の行政改革の中で検討していきたい。

宇江原 沖縄角力をとあして、中国との文化経済交流を推進すべきではないか。例えば、真謝の天后宮角力大会に、中国

の在日大使を案内すればいい。真謝の天后は250年前に中国の冊封使一行200余名を救助した歴史があり、菩薩堂も建立された。文化経済効果を向上させるためにも角力協会への助成が必要。

町長 中国の大使を呼ぶのは考えていない。阿嘉の天然水を本土、中国へ計画している。中国との古い歴史をひっくり返して考える。

これも質問

問 コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林の植栽を！





仲村昌慧 議員

問 持ち家手当での見直しを



答 職員組合と協議したい

仲村 持ち家に対する住居手当をめくつては、21年に国が廃止したのを受け、総務省が地方にも見直しを要請してきたが、

沖縄県は38市町村で制度が残っている。持ち家手当とはどういうものなのか。本町は、今後見直す考えはないか。

町長 持ち家手当とは、住居手当の中で

自己の住宅を新築または購入した場合5年間に限り同額2500円を支給するものである。見直しについては、県や他市

町の動向もみながら職員組合と協議したいと考えている。

仲村 持ち家手当に対する対象人数と額はいくらか。

仲村渠総務課長 対象人員が11人、年間

33万円を支給している。

仲村 持ち家手当については、多くの批判の声が上がっている。住民感情も考えて早急に廃止すべきではないか。

仲村渠総務課長 私が見直すということでは、直ぐにできるわけでない。職員組合と協議して前向きに進めていきたい。

問 ショウキズイセン群落の規模を拡大せよ

答 一括交付金を活用して取り組む



ズイセンの増殖・植栽計画、群落づくりについて当局の見解を伺う。

町長 町では5年計画でショウキズイセンの増殖に取り組んでいる。今後、一括交付金を活用し、ショウキズイセンの群落づくりに取り組む。

仲村 計画を立てて規模拡大し、そこを訪れる人たちに感動を与える。迫力ある群落づくりを目指してほしい。

佐久田環境保全課長 環境保全課としても積極的に球根を増やし、住民の皆さんにも協力して規模拡大に取り組んでいきたい。

仲村 ショウキズイセンの群落の規模拡大については、財政が厳しい中、年次的に計画を立てて進めるのが厳しい状況であった。幸い今年度は一括交付金によって「球美の里緑化推進事業」で、ショウキズイセンが保護増殖の対象植物となり、ショウキズイセンの群落の規模拡大が期待される。ショウキ

問 久米アイランド前の道路整備を



安村達明 議員

答 交通事故防止のため
区画線は7月中旬ごろに引く



安村 平成20年頃にイーフ地区の道路整備を要請したが、まだ整備されていない。比嘉からイーフ地区は、交通の便が悪く苦慮している。観光シーズンに入る前にせめて道路の中央線だけでも、早め

きな

町長 久米アイランド前の道路整備は、

国庫補助による事業採択として毎年県に申請をしているが、未採択のままである。

区画線の設置による交通事故防止対策については、早い時期に対策を講じたい。

安村 4年前にも質問したが、何の進展もない。せめて中央線だけでも先に引く考えはないか。

盛本建設課長 整備に関して、努力をしているところだが、なかなか事業化ができなくて現状という形になっている。先に区画線は引く。7月の中旬頃になるだろう。

問 鳥害対策を

答 捕獲かごで
取り組む計画

安村 鳥害について、

町の現在までの取組を伺いたい。特にカラスには高齢者の方々も大変苦慮している。今後、町の取組は。

町長 鳥害について、捕獲かごで有害鳥獣であるカラス対策に取り組んでいる。

佐久田環境保全課長

町民からタンカン、スイカ、トウモロコシ等の被害の報告があった場合は、産業振興課の担当職員と一緒に現場に行き、対応している。今後、も連携して対策していきたい。





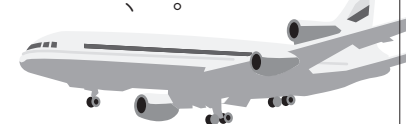
島袋完英 議員

問

格安航空会社の誘致委員会の結成を

答

現在の利用客数では大変厳しい



島袋 通年型観光を

目指すにはLCC誘致委員会を立ち上げて行動すべきではないか。

性能を探していききたい。

島袋 前回、郷友会員、久米島フアンクラブの運営割引を質問したが検討は。

平良産業振興課長 現在は、中核病院、高校があるなどの条件で、島外者の割引がない。(他は30%以上割引がある)そのことを県知事に直訴した。県企画部長の見解では、予算からして遅くとも来年という含みがあったので具体的に県企画部に要請していく。

問

兼城港へのアクセス道路の建設を

答

整備を県に強く要請していく

島袋 バイパスから、大田公民館前の生活道路を通行し兼城港へ向かう車両が多い。交通量も多く大変危険であり、早朝からの騒音被害もある。

いる。また、仲泊側からも大型車両の回転半径が足らず、大港方面からの迂回を余儀なくされている。交通安全対策はもちろんのこと、産業振興の面からもアクセス道路の建設を県に強く要請していく。

新道路建設の計画は、

町長 字大田の住民にとつては非常に危険な環境におかれて

平良産業振興課長 可能性があるとすれば、東京直行便です。

引き続き要請し、可

問 大田橋の移設保存を！

答

保存の方向で調整したい



時東と西の経済文化交流の架け橋、だつたとも言える。ぜひ、移設保存を。

教育長 今年に現地調査を行い、ぜひ残す方面で検討しているが、橋の構造、耐力等で、保存の方法を調整していきたい。

島袋 今から318年くらい前に小港橋が架けられたようである。今の場所かは定かではないが、当

これも質問

問 字兼城(新城整備工場前)から字大田(久米島総業)までの歩道建設を。町営遊技場(パチンコ・スロット)の建設を！

問 区長手当の見直しと 区長会長手当の増額を



喜久村 等 議員

答 他市町村の状況を調査し 検討したい

喜久村 区長は行政と市民のパイプ役として重要なポストにあるが、合併してすぐに区長手当の基本額が10%削減され、いまだに見直しされていない。見直しの考えはないか。また、区長会長の手当の増額はできないか。

町長 区長に対する事務委託料は、現在基本額4万5000円、世帯数割が1世帯当たり3000円となっている。区長会長については月額1万円を支給。この額

が妥当かどうかは、今年度スタートした行政改革推進室で、他市町村の状況を調査したうえで、検討したいと考えている。

仲村渠総務課長 できるだけ本年度中には議論し、ある程度の方向性を出したいと思っている。



問 中学校統廃合の進捗状況は

答 平成26年度の統廃合を推進

崎村 目標年次の統廃合は実現できるのか。

教育長 状況を見極めて26年度の統廃合を推進する。

町長 町長、教育長は25年度を目標に定め、取り組む決意を表明した経緯がある。議会での答弁は流動的で一貫性がない。遅れた原因は。

崎村 目標年次の統廃合は実現できるのか。

教育長 議会での説明の遅れ、検討委員会への答申遅れ、各地域での説明会不足が原因。

崎村 統廃合は、当初から対等な立場、対等な合併であること。新しい学校への移行課題については、実施委員会で審議されると思うのでそれ以外のことで伺いたい。

い。通学距離や下校時の安全確保を考えた場合、西中学校を希望する生徒がいると思うが、対応は。

教育長 特別な理由がない限り、基本的には嘉儀山校区の子供たちは現仲里中学校と言う事で考えている。

崎村 新しい校舎の学校建築費は財政的に確保できるのか。

仲村渠総務課長 優先的に取り組みたい。

崎村 施設の跡利用は。

仲村渠総務課長 早めに計画し対応したい。



崎村正明 議員





饒平名智弘 議員

問 町職員採用候補者 試験受験資格の 見直しを

答 取り組みたい

饒平名 町の職員受験資格に住所や本籍地について条件がないが、町に住所や本籍地を有している者を採用する考えはないか。また、町の職員は何名で夫婦は何組か伺いたい。

町長 職員の採用試験資格に住居用件はない。職員数は203名で夫婦は20組で

ある。採用試験に合格し断った者の中には住所・本籍を有していない者もいた。

饒平名 久米島町の子供たちの多くは、久米島で仕事をしたいと思っている。住所・本籍を限定すれば、島の子供たちが有利になる。私が取り寄せた資料では金武町、宜野座村、伊

江村などは受験資格を住所・本籍地のある者に与えている。また、試験日もずらしている。

町長 私も町出身者に町内で仕事をしてほしい思いはある。時期をずらして、用件つけて前向きにいきたくと思う。町のホームページ条件欄に早急に記入し、町出身の方々が受験できる体制を取り組んでいきたい。

饒平名 町の職員203名に対して40名の夫婦がいるが、町長と副町長の見解を伺いたい。

町長 他の市町村も夫婦が多い。職場結婚した結果であり、多い少ないは分からない。

副町長 個人的には私も役場に採用され、

職場結婚して家内は退職させた。専業主婦でも生計は十分可能かと思う。規制する要因はないが、人口の少ない町で203名に40名の夫婦は多いのかと思う。今後は職を与えるためにも何らかの方策を立てる余地はあるかと個人的には思う。

問 生活道路の改善を

答 県と調整を図る

饒平名 久米アイランド前の東側に駐車場を整備する考えはないか。また銭田橋が通行止めになり、大変不便な生活をしている。早急に銭田川の側の道をアスファルト舗装整備することはできないか。

町長 イーフの道路整備と一緒にロードパークとだったらできる可能性はある。銭田橋の通行止めに地域住民に迷惑かけているのは現実なので、町としても県と調整を図り、早めに舗装整備に取り組みよう要請していきたい。



**議会を傍聴
しませんか？**

次回定例会は **9月6日(木)** 開会予定

手続きは簡単。議会事務局（仲里庁舎2階）で、住所と名前を書くだけです。

一般質問（9月6日予定）の様子は仲里庁舎1階ロビーにてモニター放映します。

オスプレイ配備反対

普天間基地へMV22オスプレイの配備が計画されており、町議会では反対決議を行った。7月23日（月）臨時議会を開催し講義決議と意見書を採択した。沖縄にとって基地問題は大きく、オスプレイが配備されることは様々な問題に発展する。久米島・鳥島射爆撃場をかかえる久米島でも、状況は同じである。オスプレイ配備に反対し、今後も久米島射爆撃場の早期返還を求めていく。



米軍基地普天間飛行場へのMV-22オスプレイ 配備計画に反対し、撤回を求める決議書

米国政府は、去る6月29日、海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイを普天間飛行場に配備する計画について、日本政府に正式に通告する「接受国通報」を行った。これを受けて森本防衛大臣は、6月30日に宜野湾市長へ、7月1日に沖縄県知事へ、米側のオスプレイ配備計画について説明を行った。

オスプレイは、開発段階での試験飛行や実戦配備後に墜落を繰り返し、本年4月にはモロッコ、6月には米国フロリダ州で墜落事故を起こすなど多数の犠牲者をだしているにもかかわらず、米側は同機の配備についてCH46より静かで、安全性が高いと優位性のみを強調している。

しかしながら、離着陸時の最大騒音はCH46を上回り、深夜及び早朝の飛行が年間204回増加する計画であることから、日常的に離着陸が繰り返される基地周辺では現状より騒音被害が増加することは明らかである。

さらに、オスプレイは嘉手納飛行場への配備計画も浮上するなど、普天間飛行場のみならず、本島全域及び周辺離島において訓練と即応運用を実施する計画であることから、各地域の住民から騒音問題、環境問題に対する不安や怒りと墜落への恐怖の声が上がっている。

本町は、鳥島射爆撃場が戦後66年にわたって米軍に提供され、その間多くの事件事故が発生し、町民にとって大きな負担になってきた。長

年の射爆撃訓練により島の形状が失われつつあり、領土保全を図る上で重大な問題である。漁業・観光など経済活動が制限されるなど経済損失も多大なものがあることから、これまで再三にわたり同射爆撃場の早期返還を求めてきた。

県内にこのような危険なオスプレイを配備することにより、普天間飛行場の固定化の既成事実を積み上げ、一方的に押しつけようとする日米両政府のやり方は、県民が強く望んでいる「一日も早い危険性の除去」や「久米島射爆撃場早期返還」に逆行するものであり、断じて許されるものではない。

本県では県知事をはじめ全市町村長がオスプレイ配備に反対を表明し、また県議会及び41市町村議会も反対決議を行うなどオスプレイ配備反対が県民総意となっている。

よって、本町議会は町民・県民の生命、財産、安全を守る立場から今回の日米両政府の普天間飛行場へのMV22オスプレイの配備計画に断固反対し、撤回を重ねて強く抗議決議する。

平成24年7月23日

沖縄県久米島町議会

決議書のあて先

駐日米国大使 ジョン・V・ルース
在日米軍司令官 サンバトーレ・アンジェラ
在日米軍沖縄地域調整官 ケネス・J・グラック
在沖米國総領事 レイモンド・F・グリーン

意見書のあて先 内閣総理大臣 野田 佳彦 外務大臣 玄葉 光一郎
防衛大臣 森本 敏 沖縄防衛局長 眞部 朗
沖縄及び北方対策担当大臣 川端 達夫

議会の
うごき

■ 平成24年 5月 ■■■■■■■■■■

- 1日 栗国村パークゴルフ場落成式典に議長出席
- 8日 南部市町村議会議長会役員会に議長出席
- 8日 沖縄県町村議会議員・職員研修会に議長ほか出席
- 10日 山形県鶴岡市議会行政視察受入対応
- 10日 町地域公共交通会議に議長出席
- 14日 ●広報特別委員会
- 15日 沖縄県町村議会議長会臨時理事会に議長出席
- 15日 本土復帰40周年記念式典に議長出席
- 16日 全国離島振興市町村理事会・役員会に議長出席
- 17日 「FMくめじま」開局式に副議長ほか出席
- 22日 町商工会通常総会に議長出席
- 22日 ●全員協議会
- 24日 久米島紬事業協同組合通常総会に議長出席
- 25日 町和牛組合通常総会に議長出席
- 27日 町老人クラブ連合会定例総会に議長出席
- 28日 町観光協会通常総会に議長出席
- 29日 町産業まつり実行委員会に議長ほか出席
- 30日 久米島町民俗芸能保存総会に議長出席



5/8 議員研修会

■ 平成24年 6月 ■■■■■■■■■■

- 7日 ●議会運営委員会
- 12日 町さとうきび振興協議会に議長出席
- 13日 ●6月定例会
- 14日 ●6月定例会
- 15日 阿嘉食品初出荷式に議長出席
- 22日 町文化協会定期総会に議長出席

- 27日 町農業開発組合臨時理事会に議長出席
- 29日 町学力向上島民総決起大会



6/15 チャーター貨物船初荷式

■ 平成24年 7月 ■■■■■■■■■■

- 2日 地元産品優先活用要請対応に
- 3日 ●海士町行政視察(～7日)
- 8日 福島保養所「球美の里」開所セレモニーに議長ほか出席
- 10日 沖縄県町村議会定例役員会の議長出席
- 11日 「フェリー琉球就航記念祝賀会」に議長ほか出席
- 19日 全国離島市町村議会議長会・研修会に議長出席
- 23日 ●議会運営委員会
- 第4回臨時会
- 26日 南部市町村議会議長会臨時総会に議長出席(久米島にて開催)
- 27日 土木建築部との行政懇談会に議長出席
- 30日 久米島地区水難事故防止推進協議会に議長出席



7/19 県産品優先活用要請

FMくめじま開局



5月17日にコミュニティラジオ「FMくめじま」が開局しました。町議会では「FMくめじま」を活用して、一般質問の放送や、議会活動の報告等を行ってまいります。議会について「こんな事を放送して欲しい」など、要望がありましたら、議会事務局までご連絡下さい。

地域のコミュニティラジオ「FMくめじま」をみんなの声で盛り上げよう。